

2月26日-3月3日

[詩編 11-15 編](#)

[139 番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1分) 米山英行 | 吉田忍

神の言葉の宝

1. 平和な世界にいる自分をイメージする (10分) 大谷 正

法と秩序が守られていないために、暴力が広がっている。

([詩 11:2, 3](#)。 [塔 06 5/15 18 ページ 2 節](#))

エホバはもうすぐ暴力をなくしてくれる。([詩 11:5](#)。 [塔 般 16.4 11](#))

エホバの約束についてじっくり考えるなら、新しい世界を辛抱強く待つことができる。

([詩 13:5, 6](#)。 [塔 研 17.08 6 ページ 15 節](#))



やってみよう [エゼキエル 34 章 25 節](#)を読み、時間を取って平和な世界にいる自分を想像してみよう。([国 236 ページ 16 節](#))

2. 宝石を探し出す (10分) 阿部 直生

[詩 14:1](#) 愚かな(*無分別な)人は心の中で言う。「エホバはいない」。彼らの行動は腐敗していて忌まわしい。善いことを行う人は誰もいない。

クリスチャンであっても、どんな考え方に注意しなければならないか。([塔 13 9/15 19 ページ 12 節](#)) 残念なことに、わたしたちは世の中でパウロが言及したような人々に囲まれています。そういう人たちは大抵、**規準や原則に固執**するのは**時代後れ**だとか、**堅苦しい**と考えます。多くの教師や親は**何でも大目に見て**、“**自由主義**”的な考え方を**推奨**します。**万事が相対的**で、**絶対的なものは何もない**と言うのです。**信心深いと主張する人たち**でさえ、**自分が正しいと思うことを行なえばいい**、**神やその命令に従う義務はない**、と考えることが少なくありません。([詩 14:1](#)) こうした**態度**は、**真のクリスチャンにとって危険**です。注意していないと、**神権的な取り決め**に対して**同じ見方**をしてしまうかもしれません。**会衆のやり方に進んで従わず**、**気に入らないことに不**

平を述べることでさえあり得ます。あるいは、**娯楽**、**インターネットの使用**、**高等教育を追い求めること**に関して、**聖書に基づく助言を受け入れにくく思う**かもしれません。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 (15:5) **罪のない人を陥れる賄賂を受け取らないは、**
[脚注]よろけることがない」一元々は正しい人だったとしても、**金銭を高く評価してわいろを受け取るなら、自分を罪に陥れる**ことになる。今でも政治や財界の指導者がそうした不正によって**立派な立場からよろける状況**を見る時、**この言葉の真実さ**と、私たちが小さなことでも**不正や不正直によって罪に陥ることが無いように注意すべきこと**を**明記させられる**

3. 聖書朗読 (4分) 詩 13:1-14:7 (教励 第2課) 河野 正和

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 横山 さち子 愛 5-3 星 佳代

(2分) 日常生活で。記念式に招待する。 ([愛込 レッスン5 ポイント3](#))

5. 会話を始める 石原 小夜子 愛 3-4 田島 智子

(1分) 家から家で。記念式に招待する。 ([愛込 レッスン3 ポイント4](#))

6. 会話を始める 伊藤 本子 愛 7-4 田中 弘子

(3分) 家から家で。家の人々が記念式の招待状に関心を示す。 ([愛込 レッスン7 ポイント4](#))

7. 教えて育てる 石原 里佳 教 12 柴田 さつき

(5分) [暮 レッスン13 まとめ、復習、次のステップ](#)。エホバが間違った宗教についてどう思っているか、「[見てみよう](#)」の資料を使って一緒に考える。 ([教励 第12課](#))

クリスチャンとして生活する

[8番の歌](#)

8. 「知恵は武器よりも価値がある」 (10分) 討議。 浮田 蒼



世界中で暴力的な事件が増えています。そういうのを見たり経験したりすると強い不安を感じるものです。エホバはそのような気持ちをよく理解しています。私たちが危険から守ってほしいと思っていることも知っています。エホバは、聖書の教えによって私たちを守ってくれます。（詩 12:5-7 エホバは言う。「苦しむ人が虐げられ、貧しい人がため息をついている。私は立ち上がって行動しよう。侮辱する人から彼らを救おう」。⁶ エホバの言葉は清い。炉で精錬され、7回純化された銀のようだ。⁷ エホバ、あなたが彼らを守ってください。彼ら一人一人をこの世代の人々から永遠に保護してください。）

聖書には「武器よりも価値がある」知恵の言葉が書かれています。（伝 9:18 知恵は武器よりも価値がある。たった1人の罪人が多くの良いものを台無しにする。）暴力から身を守るために、以下の聖書の原則がどのように役立つか考えてみましょう。

- 伝 4:9, 10 (1人よりも2人がよい。2人で働くことで十分な報酬*が得られるからだ。¹⁰ もし1人が倒れても、もう1人が起こしてあげられる。しかし、倒れた時に起こしてくれる者がいない人の場合は、どうなるのだろう。) 危険な場所に1人で行かない。
- 格 22:3 (聡明な人は危険に気付いて身を隠すが、経験のない人たちは進んでいって当然の報い*を受ける。) 外出時は周りの状況に注意を払う。
- 格 26:17 (通り掛かって関係のない言い争いに激怒する*人は、犬の耳をつかむ人のようだ) 自分と関係のない争いに関わらない。
- 格 17:14 (けんかの始まりは水門が開く*時のようである。言い争いになってしまう前にそこを去れ) 暴力的なことが起きそうなら、その場をすぐに離れる。デモを行う人たちが集まっている場所に近づかない。
- ルカ 12:15 (それから群衆に言った。「じっと見張っていて、あらゆる食欲に警戒しなさい^a。たくさん物を持っても、命は所有物からは生じないからです」) 持ち物を守るために命を危険にさらさない。

「信仰の強い人と欠けた人 どちらに倣いますか エノクとレメク」の動画を再生する。次の質問をする。危険な状況に置かれた時にどのように判断し、行動するかについて、父親はエノクから何を学びましたか。（ヘブ 11:5 信仰によってエノクは、死を見ないように移されました。神によって移されたので、どこにも姿が見えなくなりました。移される前に、神に喜ばれて高く評価されたのです）周囲に暴力がはびこっていてもエノクは神と共に歩み続けたため神に喜ばれて高く評価された。父親もエノクの信仰に倣い、火器を保持したりしないことを決意。私たちも護衛のためであっても決して人を傷つけるような物を所持しないことを決意すべき。

状況によっては、自分の命や所有物を守るためにふさわしい手段を講じたいと思うかもしれませんが。そのようなときも、他の人の命を奪って流血の罪を負わないように細心の注意を払います。（詩 51:14 私を流血の罪から救ってください。神、私の救いの神よ^b。私が喜びにあふれてあなたの正しさを知らせるために。「ものみの塔」2017年7月号の「読者からの質問」クリスチャンが他の人の攻撃から身を守るために、拳銃やライフルなどの銃器を所持するのはふさわしくない」を参照。）

9.3月2日土曜日に始まる記念式のキャンペーン 有田 悟

(5分) 長老による話。会衆のキャンペーン，特別講演，記念式の予定を伝える。3月と4月は補助開拓奉仕の要求時間として15時間を選択できることを知らせる。

10. 会衆の聖書研究 (30分) 徹6章9-17節 星 延宏 朗読: 伊藤 勇一

閉会の言葉 (3分) | [40番の歌](#)と祈り 水品 安章

[^ \(詩 11:0-15:5\)](#) 指揮者へ。ダビデによる。11 私はエホバのもとに避難した。それなのに、あなたたちは私に言うのか。「鳥のように山へ逃げていけ。2 見ろ、悪人が弓に弦を張り、矢をつがえ、心の正直な人を暗闇から射ようとする。3 法の基盤が崩れているのだから、正しい人に何ができるだろうか」。4 エホバは聖なる神殿にいる。エホバの王座は天にある。神はその目で見ると。注意深い目で人々を調べる。5 エホバは正しい人と悪い人を調べ、暴力を愛する人を憎む。6 神は悪人に、次から次へとわなを仕掛ける*。火と硫黄と熱風が彼らのために定められている*。7 エホバは正しい方であり、正しい行いを愛する。正直な人は神の好意を得る。

指揮者へ。シェミニト*調に合わせて。ダビデの歌。12 エホバ、私を救ってください。忠実な*人はもうおらず、信頼できる人は人々の中から消えうせました。2 人々は互いにうそを語り、お世辞を言い*、人を欺く*。3 エホバは、お世辞を言う唇と、大いに誇る舌を取り除く。4 このように言う人々を。「私たちは舌で優位に立つ。自分の思うままに唇で語る。誰も私たちの主人とはなれない」。5 エホバは言う。「苦しむ人が虐げられ、貧しい人がため息をついている。私は立ち上がって行動しよう。侮辱する人から彼らを救おう」。6 エホバの言葉は清い。炉*で精錬され、7回純化された銀のようだ。7 エホバ、あなたが彼らを守ってくださる。彼ら一人一人をこの世代の人々から永遠に保護してくださる。8 悪人は気ままに歩き回る。人々が墮落へと進んでいるのをいいことに。

指揮者へ。ダビデの歌。13 エホバ、いつまで私を忘れているのですか。永遠にですか。いつまで顔を隠すのですか。2 いつまで私は思い悩み、毎日悲しみに暮れなければならないのですか。いつまで敵は勝利するのですか。3 私の神エホバ、私に目を留め、答えてください。私が力を取り戻し、死の眠りに落ちないようにしてください。4 敵が、「彼を打ち負かした」と言うことがないため、反対者が、落ちぶれる私を見て喜ぶことがないためです。5 私はあなたの揺るぎない愛を信じます。私の心はあなたによる救いを喜びます。6 私はエホバに向かって歌います。豊かに報いてくださったからです。

指揮者へ。ダビデによる。14 愚かな*人は心の中で言う。「エホバはいない」。彼らの行動は腐敗していて忌まわしい。善いことを行う人は誰もいない。2 エホバは天から人々を見下ろしている。洞察力のある人、エホバに導きを求める人がいるかどうかを見るために。3 人々は皆それていき、皆一様に腐敗している。善いことを行う人は誰もいない。一人もいない。4 悪を行う人は誰も理解しないのか。彼らは、パンを食べるかのように私の民を食い尽くす。エホバに呼び掛